

5年—Unit 4

単元名

What time do you get up?

一日の生活

1. 単元目標

- ・一日の生活について聞いたり言ったりすることができる。また、活字体の小文字を書くことができる。(知識及び技能)
- ・一日の生活に関するまとまりのある話を聞いておおよその内容を捉えたり、一日の生活について伝え合ったりする。(思考力、判断力、表現力等)
- ・他者に配慮しながら、自分の一日の生活について伝え合おうとする。(学びに向かう力、人間性等)

2. 言語材料

- What time do you (get up)? I (usually) (get up) at (7:00).
- always, usually, sometimes, never, at, get up, 手伝い (wash the dishes, set the table, clean my room, get the newspaper), koala, lion

[既出] 日課, 数 (1~60), 動作, 曜日, スポーツ, 教科, walk, take out the garbage

3. 関連する学習指導要領における領域別目標

聞くこと	イ ゆっくりはっきりと話されれば、日常生活に関する身近で簡単な事柄について、具体的な情報を聞き取ることができるようにする。
話すこと (発表)	イ 自分のことについて、伝えようとする内容を整理した上で、簡単な語句や基本的な表現を用いて話すことができるようにする。
書くこと	ア 大文字、小文字を活字体で書くことができるようにする。また、語順を意識しながら音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現を書き写すことができるようにする。

4. 単元計画 (8時間)

時	目標 (◆) と主な活動 (【 】 , ○) 【 】 = 誌面化されている活動	◎評価の観点<方法>
1	<p>◆動作の言い方を知るとともに、小文字の書き方が分かり、小文字を書くことができる。</p> <p>【Let's Watch and Think1】 p.26, 27</p> <ul style="list-style-type: none"> ・世界の子供たちの1日について知り、自分達の生活との共通点や相違点等気付いたことを発表する。 <p>○フェイント・リピート</p> <ul style="list-style-type: none"> ・指導者に続いて語句を言う。指導者がさし示すカードと言っている語句が違う場合は、正しい語句を言う。 <p>○Buzz Game (1~60)</p> <p>【Let's Chant】 What time do you get up? p.27</p> <p>○Sounds and Letters ①</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大文字と比較しながら、c, o, sの書き方を知り、形や4線上の書く位置に注意を払いながら、ワークシートの4線上に文字を書く。 ・アルファベットの文字の名称を聞いてその文字を書く。 	<p>※動作の言い方については、目標に向けた指導をするが評価は次時に合わせて行う。</p> <p>◎小文字の書き方が分かり、小文字を書いている。<行動観察・記述分析・振り返りカード点検></p>
2	<p>◆頻度や日課を聞いたり言ったりできるとともに、小文字の書き方が分かり、小文字を書くことができる。</p> <p>○Small Talk : 朝食</p> <p>【Let's Play 1】 ポインティング・ゲーム (頻度) p.28</p> <ul style="list-style-type: none"> ・指導者の言う頻度を表す語を聞いて、誌面にある絵をさし示す。 <p>○マジョリティ調査</p> <ul style="list-style-type: none"> ・指導者の質問に対して、4種類の頻度から選んで挙手し答える。 <p>【Let's Chant】 What time do you get up? p.27</p>	

	<p>【Let's Play 2】 p.29</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ペアになり互いに What time do you (get up)? と尋ね、時刻を記入する。ペアを替えて繰り返す。 <p>○Sounds and Letters ②</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大文字と比較しながら、v, w, x, z の書き方を知り、形や4線上の書く位置に注意を払いながら、ワークシートの4線上に文字を書く。 ・アルファベットの文字の名称名前を聞いてその文字を書く。 	<p>◎頻度や日課を聞いたり言ったりしている。〈行動観察・振り返りカード点検〉</p> <p>◎小文字の書き方が分かり、小文字を書いている。〈行動観察・記述分析・振り返りカード点検〉</p>
3	<p>◆1日の生活についてまとまりのある話を聞いておおよその内容を捉えるとともに、小文字の書き方が分かり、小文字を書くことができる。</p> <p>【Let's Chant】 What time do you get up? p.27</p> <p>【Let's Listen 1】 p.29</p> <ul style="list-style-type: none"> ・音声を聞いて、登場人物がどんな頻度でどんなことをしているのかを聞き取り、イラストを線で結ぶ。 <p>【Let's Play 3】 p.30</p> <ul style="list-style-type: none"> ・指導者の生活について聞き取り、その頻度と日課を線で結ぶ。 ・指導者のスピーチを参考にして、就寝についてイラストをヒントに、自分のことをペアと伝え合う。 <p>○Let's Read and Write ①</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分の日課について、ワークシートの下にあるカードから選んで□の部分に貼る。時刻を記入し、声に出して文を言う（読んでみる）。 <p>○Sounds and Letters ③</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大文字と比較しながら、a, e, u の書き方を知り、形や4線上の書く位置に注意を払いながら、ワークシートの4線上に文字を書く。 ・アルファベットの名前を聞いてその文字を書く。 	<p>◎音声を聞いて、1日の日課とその頻度を推測して線で結んでいる。〈発表観察・記述分析・振り返りカード点検〉</p> <p>◎小文字の書き方が分かり、小文字を書いている。〈行動観察・記述分析・振り返りカード点検〉</p>
4	<p>◆1日の生活について頻度を含めて伝え合うとともに、小文字の書き方が分かり、小文字を書くことができる。</p> <p>○Small Talk : 日課</p> <ul style="list-style-type: none"> ・指導者の話を聞いて、質問に答える。 <p>【Activity】 p.30</p> <ul style="list-style-type: none"> ・デジタル教材で誌面p.30のイラストを見ながら、指導者の質問に答える。 ・友達の「家での役割」について伝え合う。How about you? で尋ねたり、頻度を含めて答えたりし、表に友だちの名前を記入する。 <p>【Let's Chant】 What time do you get up? (オプション) p.27</p> <p>○Let's Read and Write ②</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分の日課について、ワークシートの下にあるカードから選んで□の部分に貼る。時刻を記入し、声に出して文を言う（読んでみる）。 <p>○Sounds and Letters ④</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大文字と比較しながら、m, n, r, i, t の書き方を知り、形や4線上の書く位置に注意を払いながら、ワークシートの4線上に文字を書く。 ・アルファベットの名前を聞いてその文字を書く。 	<p>◎1日の生活や頻度について伝え合っている。〈行動観察・振り返りカード点検〉</p> <p>◎小文字の書き方が分かり、小文字を書いている。〈行動観察・記述分析・振り返りカード点検〉</p>
5	<p>◆1日の生活についてまとまりのある話を聞いておおよその内容を捉えるとともに、音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句で書かれたものの意味が分かる。</p> <p>◆小文字の書き方が分かり、小文字を書くことができる。</p> <p>○Small Talk : いつもすること・しないこと</p> <ul style="list-style-type: none"> ・指導者の話を、反応を示したり、質問について考えたり答えたりしながら聞く。 <p>【Let's Chant】 What time do you get up? (オプション) p.27</p>	

	<p>【Let's Listen 2】 p.31</p> <ul style="list-style-type: none"> ・音声聞いて、だれがどんな頻度で行う日課なのかを考えて、線で結ぶ。 <p>【Let's Watch and Think 2】 p.31</p> <ul style="list-style-type: none"> ・Mark が話す「家での役割」について何をどんな頻度で行っているか等について聞き取り記入する。 <p>○Let's Read and Write ③</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分の日課について、カードから選んで貼る。 ・相手に伝える目的をもって、声に出して読んでみる。 <p>○Sounds and Letters ⑤</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大文字と比較しながら、f, h, k, l の書き方を知り、形や4線上の書く位置に注意を払いながら、ワークシートの4線上に文字を書く。 ・アルファベットの名前を聞いてその文字を書く。 	<p>◎1日の生活についてまとまりのある話を聞いておおよその内容を捉え、表に記入している。〈行動観察・記述分析・振り返りカード点検〉</p> <p>◎音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現で書かれたものの意味が分かり、カードを貼り付けている。〈行動観察・記述分析・振り返りカード点検〉</p> <p>◎小文字の書き方が分かり、小文字を書いている。〈行動観察・記述分析・振り返りカード点検〉</p>
6	<p>◆音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句で書かれたものの意味が分かるとともに、小文字の書き方が分かり、小文字を書くことができる。</p> <p>【Let's Chant】 What time do you get up? (オプション) p.27</p> <p>【Let's Watch and Think 2】 p.31</p> <ul style="list-style-type: none"> ・Francis がどんな頻度でどんな行動をしているのか等について聞き取って記入する。 <p>○Let's Read and Write ④</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分の日課について、カードから選んで貼る。 ・相手に伝える目的をもって、声に出して読んでみる。 <p>○自分の日常生活について紹介する準備をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・追加で話すことの整理をする。 ・完成したら、文字やイラストを頼りに話す練習をする。 <p>○Sounds and Letters ⑥</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大文字と比較しながら、g, y, j の書き方を知り、形や4線上の書く位置に注意を払いながら、ワークシートの4線上に文字を書く。 ・アルファベットの名前を聞いてその文字を書く。 <p>○Sounds and Letters ⑦</p> <ul style="list-style-type: none"> ・同じ音で始まる語を考えて発表する。 	<p>◎音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現で書かれたものの意味が分かり、貼り付けている。〈行動観察・記述分析・振り返りカード点検〉</p> <p>◎小文字の書き方が分かり、小文字を書いている。〈行動観察・記述分析・振り返りカード点検〉</p>
7	<p>◆他者に配慮しながら、自分の1日の生活について伝えようとするとともに、小文字の書き方が分かり、小文字を書くことができる。</p> <p>○Small Talk： 1日の生活</p> <ul style="list-style-type: none"> ・指導者の話を、反応を示したり、質問について考えたり答えたりしながら聞く。 <p>【Let's Chant】 What time do you get up? p.27</p> <p>【Let's Listen 3】 p. 32</p> <ul style="list-style-type: none"> ・登場人物が会話形式で日常生活について伝えたり質問したり答えたりしている音声聞いて、イラストを線で結ぶ。 <p>○ペアで伝え合おう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・班の中でペアになり、自分の日常生活を頻度も含めて紹介する。次時 	<p>◎他者に配慮しながら、自分の1日の生活について伝え合っている。〈行動観察・</p>

	<p>の練習を兼ねて、班の中でペアを替えながら何度か行う。互いにアドバイスをし合い、次時により紹介ができるようにする。</p> <p>○Sounds and Letters ⑧</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大文字と比較しながら、b, d, p, q の書き方を知り、形や4線上の書く位置に注意を払いながら、ワークシートの4線上に文字を書く。 ・アルファベットの名前を聞いてその文字を書く。 	<p>振り返りカード点検</p> <p>◎小文字の書き方が分かり、小文字を書いている。〈行動観察・記述分析・振り返りカード点検〉</p>
8	<p>◆他者に配慮しながら、自分の1日の生活について伝えようとするとともに、小文字の書き方が分かり、小文字を書くことができる。</p> <p>【Let's Chant】 What time do you get up? p.27</p> <p>○自分の日常生活を頻度も含めて紹介する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ Hello, my name is _____. とスピーチを始め、最後は Thank you. と言う。 ・ 聞き取れた内容を分かる範囲でよいのでワークシートに記入する。 <p>○Sounds and Letters ⑨</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ a から z までの小文字を書く。 <p>○Sounds and Letters ⑩</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 同じ音で始まる語を考えて発表する。 <p>【STORY TIME】 p.33</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 絵本の読み聞かせを聞く。 	<p>◎他者に配慮しながら、自分の日常生活を頻度も含めて紹介している。〈行動観察・振り返りカード点検〉</p> <p>◎小文字の書き方が分かり、小文字を書いている。〈行動観察・記述分析・振り返りカード点検〉</p>

5年 Unit 4—Lesson 1 単元名 What time do you get up?

一日の生活 1/8時間

目 標 動作の言い方を知るとともに、小文字の書き方が分かり、小文字を書くことができる。

準 備 教師用カード（日課、動作）、ワークシート（Unit 4-7）、デジタル教材、児童用テキスト、振り返りカード

※デジタル教材で特に表記のないものに関しては該当学年のものを使用する。

時間	児童の活動	指導者の活動 ◎評価<方法>	準備物
3分	・挨拶をする。	・全体に挨拶し、個別に数名の児童に挨拶する。	
14分	<p>【Let's Watch and Think 1】 p.26, 27</p> <p>・世界の子供たちの1日について知り、自分達の生活との共通点や相違点等気付いたことを発表する。</p>	<p>・映像資料を視聴させ、聞き取れた語を発表させる。日本の生活との相違点や共通点に気付かせることがねらいである。それらへの気付きを、本単元で題材である日課について、学級の友達はどうなのだろうという関心につなげ、意欲的に日課について伝え合えるようにしたい。</p> <p>・そこで、児童が自分たちの生活との相違点や共通点により気付けるように、映像資料を視聴しながら要所で映像音声を繰り返すなどし、児童に注目させるとよい。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>T: In Spain, children have <i>hirune</i> at school. In Mongol, they live in a big tent. In Finland, they have a long day in summer. In winter, they have a short day.</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>スペイン : In Spain people take a siesta every day. We say <i>hirune</i> in Japanese. Children at school have a siesta, too.</p> <p>モンゴル : Some Mongolians live in a ger. A ger is a big tent. The families live in the ger. They keep cows and other animals.</p> <p>フィンランド: Finland is in Northern Europe. In summer the sun comes up about three o'clock in the morning and sets about nine o'clock in the evening. In winter the sun comes up about nine o'clock in the morning and sets at three o'clock in the afternoon. School starts in the dark in winter.</p> </div>	デジタル教材 児童用テキスト
		<p>・視聴後は、児童に自由に発言させ、相違点や共通点を交流する。また、聞き取れたことを称賛し、聞いてみようとする意欲を高めるようにする。</p> <p>・スペインの昼寝の話から、就寝時刻や起床時刻に話をつなげ、児童とそれらの時刻についてやり取りをし、日課や時刻の言い方（Let's Try! 2, Unit 4, Unit 9）を想起させる。</p>	
		<div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>T : Do you have <i>hirune</i> at our school? No, we don't. What time do you go to bed? At 9:00? At 9:30? S1: 9:30. T : You go to bed at 9:30. How about you, S2? S2: At 10:00. T : You go to bed at 10:00. I go to bed at 11:00. What time do you get up?</p> </div>	

<p>5分</p>	<p>○フェイント・リピート ・指導者に続いて語句を言う。指導者がさし示すカードと言っている語句が違う場合は、正しい語句を言う。</p>	<p>・このゲームのねらいは、日課や動作を表す表現を繰り返し聞いたり言ったりして慣れ親しむことである。単に指導者に続いて言うのではなく、自分で考えてしっかり言わせるために、時折フェイントを入れる。ただし第1回目なので、フェイントをするのは4年生外国語活動で十分慣れ親しんだ語句のみにするよう配慮する。</p>	<p>教師用カード (日課、動作)</p>
<p>フェイント・リピートの進め方 ・まず、児童とその言い方を確認しながら、日課と動作のカードを黒板に掲示していく。カードをさし示しながら言い、児童に続いて言うよう促す。さし示したものと違うものを言い、児童がつかれずに正しく言ったら褒め、進め方を理解させるようにする。 T: (正しい絵カードをさしながら) I go home. S: I go home. T: (正しい絵カードをさしながら) I eat dinner. S: I eat dinner. T: (I get up の絵カードをさしながら) I study English. S: I get up. T: Good. (正しい絵カードをさしながら) I go home. S: I go home.</p>			
<p>5分</p>	<p>○Buzz Game (1~60) ・グループで Buzz Game を行う。</p>	<p>・このゲームのねらいは、数の言い方に慣れさせることである。児童の実態により、数字一覧表を準備すると、支援の必要な児童もゲームがしやすい。 ・Buzz とは、ハチがブンブン飛び回る音を表し、数をどんどん言い合う様子をハチの飛び回る様に例えている。Buzz を言ったら負けのように、勝ち負けにこだわらせない。</p>	
<p>Buzz Game の進め方 ・グループで行う。1人が言える数は、1つから3つまで。スタート No.から言い始め、Buzz No.を言ったところで終了。Buzz No.を言った児童から次のスタート No.でゲームを再開する。1回目は、1~20、2回目は20~40、3回目は40~60の数字で行う。 3ゲームを時間内に終了した場合は、再度②又は③のスタート No.で始めるとよい。</p>			
<p>5分</p>	<p>[Let's Chant] What time do you get up? p.27</p>	<p>・オプション1から始める。まず児童に聞かせ、ゆっくりバージョンから始めるようにする。聞こえた語を交流させてから一緒に言う。</p>	<p>デジタル教材</p>
<p>What time do you get up? What time do you get up? I get up at six. (Oh, I see.) I get up at seven. (Oh, me, too.) What time do you do your homework? What time do you do your homework? I do my homework at eight. (Oh, really?) I do my homework at nine. (So do I.) What time do you brush your teeth? What time do you brush your teeth? I brush my teeth at nine thirty. (Really?) I don't brush my teeth at night. (Oh, no! That's bad.)</p>			
<p>10分</p>	<p>○Sounds and Letters ① (c, o, s) ・大文字と比較しながら、c, o, sの書き方を知り、形や4線上の書く位置に注意を払いながら、ワークシートの4線上に文字を書く。 ・アルファベットの文字の名称を聞いてその文字を書く。</p>	<p>・書く前に児童とアルファベットの文字の読み方を確認する。書き間違いやすいものについては、児童と書き方や4線上の位置について確認してから始めるようにする。 ・デジタル教材で音声を聞かせてその小文字を書くように指示する。① c ② o ③ s ④ c, s ⑤ o, c</p>	<p>ワークシート (Unit 4-7) デジタル教材</p>
<p>デジタル教材: 「教材どうぐばこ」 → 「素材種類別」 → 「アルファベットの名前・音」・「アルファベットの書き順」</p>			
<p>◎小文字の書き方が分かり、小文字を書いている。 <行動観察・記述分析・振り返りカード点検></p>			
<p>3分</p>	<p>・本時の活動を振り返る。振り返りカードに記入する。 ・挨拶をする。</p>	<p>・本時のねらいに照らして児童を称賛する。 ・挨拶をする。</p>	<p>振り返りカード</p>

5年 Unit 4—Lesson 2 単元名 What time do you get up?

一日の生活 2/8時間

目 標 頻度や日課を聞いたり言ったりできるとともに、小文字の書き方が分かり、小文字を書くことができる。

準 備 教師用カード (頻度, 日課, 飲食物), ワークシート (Unit 4-8), デジタル教材, 振り返りカード, 児童用テキスト

※デジタル教材で特に表記のないものに関しては該当学年のものを使用する。

時間	児童の活動	指導者の活動 ◎評価<方法>	準備物
8分	<ul style="list-style-type: none"> 挨拶をする。 ○Small Talk : 朝食	<ul style="list-style-type: none"> 全体に挨拶し、個別に数名の児童に挨拶する。 朝食について話す。児童に質問をしながら、児童を話に巻き込むようにする。 	教師用カード (頻度・飲食物)
<p>Small Talk の例</p> <p>※カレンダーの曜日をさし示したり、ジェスチャーや頻度のカードを黒板に掲示しながら話す。</p> <p>I always get up at 6:00 on Sunday, Monday, Tuesday, Wednesday, Thursday, Friday, Saturday. Every day I get up at 6:00.</p> <p>I always eat breakfast. Sunday, Monday, Tuesday, Wednesday, Thursday, Friday, Saturday. Every day.</p> <p>I usually eat rice and <i>miso</i> soup for breakfast. Sunday, Monday, Wednesday, Thursday, Saturday, Sunday. Not always, usually.</p> <p>I sometimes eat salad for breakfast. Monday, Wednesday, Friday. Not always, not usually. Sometimes.</p> <p>I sometimes drink milk for breakfast. Tuesday, Saturday, Sunday.</p> <p>I never drink coffee. I don't like coffee.</p> <p>What do you eat for breakfast? S: Rice / Bread. T: Always? Usually? Sometimes? (それぞれの絵カードを見せながら)</p>			
		<ul style="list-style-type: none"> この活動を通して、児童に頻度を表す語彙に出会わせる。頻度を表す語彙の意味を、カレンダーをさし示しながら、絵カードのイラストをヒントに理解させるようにする。何度も繰り返し聞かせることがポイントである。 	
3分	【Let's Play 1】ポインティング・ゲーム (頻度) p.28 <ul style="list-style-type: none"> 指導者の言う頻度を表す語を聞いて、誌面にある絵をさし示す。 	<ul style="list-style-type: none"> 誌面の中にある頻度を表す語を言い、それに該当する絵を児童にさし示すように言う。 	児童用テキスト
10分	○マジョリティ調査 <ul style="list-style-type: none"> 指導者の質問に対して、4種類の頻度から選んで挙手し答える。 	<ul style="list-style-type: none"> 起床、おやつ、テレビ視聴などについて尋ねる。以下の質問をジェスチャーや黒板に絵を描いたり、カードを見せたりしながら質問する。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>T: Do you go to bed at 9:00 / 9:30 / 10:00? Always? Usually? Sometimes? Never? Do you wake up at 6:00 / 6:30 / 7:00 / 7:30? Always? Usually? Sometimes? Never? Do you eat snack (おやつ) ? Always? Usually? Sometimes? Never? Do you watch TV at night? Always? Usually? Sometimes? Never?</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> 何度も always, usually, sometimes, never を聞かせて慣れ親しませることがねらいである。 	教師用カード (頻度, 日課)
5分	【Let's Chant】What time do you get up? p.27	<ul style="list-style-type: none"> ゆっくりバージョンで言い、慣れてきたらふつうバージョンと一緒に言う。 	デジタル教材

	<p>・最初はデジタル画面を視聴しながら言えるところから言う。</p>	<p>What time do you get up? What time do you get up? I get up at six. (Oh, I see.) I get up at seven. (Oh, me, too.)</p> <p>What time do you do your homework? What time do you do your homework? I do my homework at eight. (Oh, really?) I do my homework at nine. (So do I.)</p> <p>What time do you brush your teeth? What time do you brush your teeth? I brush my teeth at nine thirty. (Really?) I don't brush my teeth at night. (Oh, no! That's bad.)</p>	
10分	<p>【Let's Play 2】 p.29</p> <p>・ペアになり互いに What time do you (get up)? と尋ね、時刻を記入する。ペアを替えて繰り返す。</p>	<p>・自分の起床時間を誌面「あなた」のところに書き込み、頻度のアイコンに○をするように指示する。</p> <p>・代表児童とデモンストレーションをして、質問の仕方と答え方を理解させるようにする。</p> <p>・児童同士で尋ね合いをさせる。</p>	<p>児童用テキスト 教師用カード (頻度, 日課)</p>
	<p>T : I always get up at 6:00. What time do you get up? S1: At 7:00. T : You get up at 7:00. Always? Usually? Sometimes? S1: Usually. T : You usually get up at 7:00. (言うように促す) S1: I usually get up at 7:00. T : How about S2? What time do you get up? (他の児童も一緒に尋ねるよう促す) S2: I get up at 6:30. T : Always? Usually? Sometimes? S2: Always. T : You always get up at 6:30. (言うように促す) S2: I always get up at 6:30.</p>	<p>◎頻度や日課を聞いたり言ったりしている。〈行動観察・振り返りカード点検〉</p>	
6分	<p>○Sounds and Letters ② (v, w, x, z)</p> <p>・大文字と比較しながら, v, w, x, z の書き方を知り, 形や4線上の書く位置に注意を払いながら, ワークシートの4線上に文字を書く。</p> <p>・アルファベットの文字の名称を聞いてその文字を書く。</p>	<p>・書く前に児童とアルファベットの文字の読み方を確認する。書き間違いやすいものについては, 児童と書き方や4線上の位置について確認してから始めるようにする。</p> <p>・デジタル教材の音声を聞かせてその小文字を書くように指示する。① v ② x ③ z ④ w ⑤ o, x</p>	<p>ワークシート (Unit 4-8) デジタル教材</p>
		<p>デジタル教材:「教材どうぐばこ」→「素材種類別」→「アルファベットの名前・音」・「アルファベットの書き順」</p> <p>◎小文字の書き方が分かり, 小文字を書いている。〈行動観察・記述分析・振り返りカード点検〉</p>	
3分	<p>・本時の活動を振り返る。振り返りカードに記入する。</p> <p>・挨拶をする。</p>	<p>・本時のねらいに照らして児童を称賛する。</p> <p>・挨拶をする。</p>	<p>振り返りカード</p>

5年 Unit 4—Lesson 3 単元名	What time do you get up?	一日の生活	3/8時間
目 標	1日の生活についてまとまりのある話を聞いておおよその内容を捉えるとともに、小文字の書き方が分かり、小文字を書くことができる。		
準 備	教師用カード (日課, 頻度), ワークシート (Unit 4-2, 4-9), デジタル教材, 児童用テキスト, 振り返りカード		

※デジタル教材で特に表記のないものに関しては該当学年のものを使用する。

時間	児童の活動	指導者の活動 ◎評価<方法>	準備物
3分	・挨拶をする。	・全体に挨拶し、個別に数名の児童に挨拶する。	
4分	【Let's Chant】 What time do you get up? p.27 ・チャンツを言う。	・デジタル教材を視聴しながら児童と一緒に言う。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>What time do you get up? What time do you get up? I get up at six. (Oh, I see.) I get up at seven. (Oh, me, too.)</p> <p>What time do you do your homework? What time do you do your homework? I do my homework at eight. (Oh, really?) I do my homework at nine. (So do I.)</p> <p>What time do you brush your teeth? What time do you brush your teeth? I brush my teeth at nine thirty. (Really?) I don't brush my teeth at night. (Oh, no! That's bad.)</p> </div>	デジタル教材
8分	【Let's Listen 1】 p.29 ・音声を聞いて、登場人物がどんな頻度でどんなことをしているのかを聞き取り、イラストを線で結ぶ。	・聞き取り活動の前にイラストから分かる情報を確認する。 ・答え合わせは全員で音声を確認しながら行う。 ◎音声を聞いて、1日の日課とその頻度を推測して線で結んでいる。〈発表観察・記述分析・振り返りカード点検〉	デジタル教材 児童用テキスト
		<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>先生 : Hikari, what time do you get up? ひかり : I usually get up at six thirty. 先生 : Do you help your mother and father? ひかり : Yes, I do. I sometimes take out the garbage. I always wash the dishes. 先生 : That's nice! What time do you go to bed? ひかり : I usually go to bed at nine thirty. I sometimes go to bed at ten. 先生 : Gilberto, what time do you get up? ギルベルト : I always get up at six. 先生 : You get up at six? ギルベルト : Yes, and I usually walk my dog. 先生 : Oh, you have a dog. That's nice. Do you usually clean your bedroom? ギルベルト : No, not usually. I sometimes clean my bedroom. 先生 : OK, what time do you go to bed? ギルベルト : I usually go to bed at ten.</p> </div>	
15分	【Let's Play 3】 p.30 ・指導者の生活について聞き取り、その頻度と日課を線で結ぶ。	・4つの行動に関して、指導者自身の日課を反映させながら短いスピーチを4文で言う。	デジタル教材 教師用カード (日課, 頻度) 児童用テキスト
	<div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>I (always) get up at 6:00. I (never) eat toast, salad, sausage and coffee for breakfast. I (sometime) wash the dishes. I (usually) go to bed at 11:00.</p> </div>	・ペアの相手を替えて繰り返すよう言う。分かりにくい児童には、似顔絵→頻度→動作のイラストを順に手で	

	<p>自分のことをペアと伝え合う。</p> <p>I usually get up at 7:00. I sometimes go to bed at 10:00.</p>	<p>押さえながら言うとよいことを伝える。個別支援をする。</p> <p>・児童の実態に応じて、4つのイラストについてすべて伝え合わせてもよい。</p>	
6分	<p>OLet's Read and Write ①</p> <p>・自分の日課について、ワークシートの下にあるカードから選んで□の部分に貼る。時刻を記入し、声に出して文を言う（読んでみる）。</p>	<p>・日課を表す言い方を、ワークシートの絵カードとその下の語句を見ながら、みんなで確認する。</p> <p>・ワークシートのリード文は、「例にならって書いてみよう。」となっているが、ここでは、カードを切り取って貼らせるだけにとどめる。児童の実態に応じて、書かせることも考えられる。個別指導をする。</p> <p>・文字を音声化することが大切である。イラストをヒントに文を言う（読む）よう指示する。1つだけでなく、いくつかの動作にチャレンジさせることも考えられる。</p>	<p>ワークシート (Unit 4-2)</p>
6分	<p>OSounds and Letters ③ (a, e, u)</p> <p>・大文字と比較しながら、a, e, uの書き方を知り、形や4線上の書く位置に注意を払いながら、ワークシートの4線上に文字を書く。</p> <p>・アルファベットの文字の名称を聞いてその文字を書く。</p>	<p>・聞こえた小文字をワークシートに書くように指示する。デジタル教材の音声を聞かせてその小文字を書くように指示する。</p> <p>① e ② u ③ a ④ c, a ⑤ z, e</p> <p>デジタル教材：「教材どうぐばこ」→「素材種類別」→「アルファベットの名前・音」・「アルファベットの書き順」</p> <p>◎小文字の書き方が分かり、小文字を書いている。〈行動観察・記述分析・振り返りカード点検〉</p>	<p>ワークシート (Unit 4-9) デジタル教材</p>
3分	<p>・本時の活動を振り返る。振り返りカードに記入する。</p> <p>・挨拶をする。</p>	<p>・本時のねらいに照らして児童を称賛する。</p> <p>・挨拶をする。</p>	<p>振り返りカード</p>

5年 Unit 4—Lesson 4 単元名 What time do you get up?

一日の生活 4/8時間

目 標 1日の生活について頻度を含めて伝え合うとともに、小文字の書き方が分かり、小文字を書くことができる。

準 備 教師用カード (日課, 頻度), ワークシート (Unit 4-3, 4-10), デジタル教材, 児童用テキスト, 振り返りカード

※デジタル教材で特に表記のないものに関しては該当学年のものを使用する。

時間	児童の活動	指導者の活動 ◎評価<方法>	準備物
7分	<ul style="list-style-type: none"> 挨拶をする。 ○Small Talk : 日課 <ul style="list-style-type: none"> 指導者の話を聞いて、質問に答える。 	<ul style="list-style-type: none"> 全体に挨拶し、個別に数名の児童に挨拶する。 日課について話す。児童に質問をしながら、児童を巻き込むように話す。 	教師用カード (日課)
	<p>Small Talk の例</p> <p>I always get up at 6 o'clock and watch morning news on TV. I usually check the weather forecast. (黒板に晴れや曇りのマークを描きながら) I eat breakfast and go to school. I always get to school at 7:30 and say "Good morning!" I go home about 7:00. I always eat dinner and take a bath. I sometimes go to bed about 11:00. I sometimes go to bed about 12.</p>		
		<ul style="list-style-type: none"> 児童の日課として、do my homework を取り上げ、そのカードを見せながら児童に質問をする。 	
	<p>T: You do your homework every day. What time do you do your homework? Do you always do your homework from 5:00 to 7:00? (児童に手を挙げるよう促す) Do you always do your homework from 7:00 to 9:00? (児童に手を挙げるよう促す) Do you always do your homework after 9:00? (児童に手を挙げるよう促す)</p>		
20分	[Activity] p.30 <ul style="list-style-type: none"> デジタル教材で誌面 p.30 のイラストを見ながら、指導者の質問に答える。 	<ul style="list-style-type: none"> デジタル教材で、Activity の部分を大きく映し出す。 get the newspaper, wash the dishes, clean your room を繰り返して聞かせ、Do you get the newspaper? などと、全体に質問をしたうえで、代表児童に質問し、何度も頻度と3つの動作について繰り返して聞かせるようにする。 	デジタル教材 児童用テキスト 教師用カード (日課, 頻度)
	<p>T : Do you always get the newspaper? S1: No, I don't. T : Usually? Sometimes? Never? S1: Never. T : You never get the newspaper. How about S2? Do you always get the newspaper? S2: No, I don't. Sometimes. T : You sometimes get the newspaper.</p>		
	<ul style="list-style-type: none"> 友達の「家での役割」について伝え合う。How about you? で尋ねたり、頻度を含めて答えたりし、表に友だちの名前を記入する。 	<ul style="list-style-type: none"> 改めて児童全体に3つの質問をして、児童は答えを4つの頻度から選んで答える。 答え方を確認しながら児童は、自分の答えのところにあらかじめ印をつけておく。 自分と同じ答えの友だちがいたら、Me, too. と反応したり、同じ質問を繰り返す代わりにHow about you? と返したりしてもよいと伝える。 <p>◎1日の生活や頻度について伝え合っている。 <行動観察・振り返りカード点検></p>	

5分	<p>【Let's Chant】 What time do you get up? (オプション) p.27</p> <p>・チャンツを言う。</p>	<p>・まず聞かせ、聞こえた語を交流してから児童と一緒に言う。</p> <p>I always wash the dishes. I always wash the dishes. On Sunday, Monday, Tuesday, Wednesday, Thursday, Friday and Saturday. I always wash the dishes. (clap)</p> <p>I usually get the newspaper. I usually get the newspaper. On Monday, Tuesday, Wednesday, Thursday and Friday. I usually get the newspaper. (clap)</p> <p>I sometimes clean my room. I sometimes clean my room. On Sunday and Wednesday. I sometimes clean my room. (clap)</p> <p>I never comb my hair. I never comb my hair. Not on Sunday. Not on other days. Not at all! I never comb my hair. (Oh, no!)</p>	デジタル教材
3分	<p>○Let's Read and Write ②</p> <p>・自分の日課について、ワークシートの下にあるカードから選んで□の部分に貼る。時刻を記入し、声に出して文を言う（読んでみる）。</p>	<p>・頻度を表す言い方を、ワークシートの絵カードとその下の語句を見ながら、みんなで確認する。</p> <p>・ワークシートのリード文は、「例にならって書いてみよう。」となっているが、ここでは、カードを切り取って貼らせるだけにとどめる。児童の実態に応じて、書かせることも考えられる。また、個別指導をする。</p> <p>・文字を音声化することが大切である。イラストをヒントに文を言う（読む）よう指示する。</p>	ワークシート (Unit 4-3)
6分	<p>○Sounds and Letters ④ (m, n, r, i, t)</p> <p>・大文字と比較しながら、m, n, r, i, tの書き方を知り、形や4線上の書く位置に注意を払いながら、ワークシートの4線上に文字を書く。</p> <p>・アルファベットの文字の名称を聞いてその文字を書く。</p>	<p>・聞こえた小文字をワークシートに書くように指示する。</p> <p>① n ② r ③ m ④ i ⑤ t</p> <p>デジタル教材:「教材どうぐばこ」→「素材種類別」→「アルファベットの名前・音」・「アルファベットの書き順」</p> <p>◎小文字の書き方が分かり、小文字を書いている。〈行動観察・記述分析・振り返りカード点検〉</p>	ワークシート (Unit 4-10) デジタル教材
4分	<p>・本時の活動を振り返る。振り返りカードに記入する。</p> <p>・挨拶をする。</p>	<p>・本時のねらいに照らして児童を称賛する。</p> <p>・挨拶をする。</p>	振り返りカード

Unit 4—Lesson 5 単元名 What time do you get up?

一日の生活 5/8時間

目標 1日の生活についてまとまりのある話を聞いておおよその内容を捉えるとともに、音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句で書かれたものの意味が分かる。

小文字の書き方が分かり、小文字を書くことができる。

準備 教師用カード（日課、頻度）、ワークシート（Unit 4-4, 4-11）、デジタル教材、児童用テキスト、振り返りカード

※デジタル教材で特に表記のないものに関しては該当学年のものを使用する。

時間	児童の活動	指導者の活動 ◎評価<方法>	準備物
5分	<ul style="list-style-type: none"> 挨拶をする。 <p>OSmall Talk: いつもすること・しないこと</p> <ul style="list-style-type: none"> 指導者の話を、反応を示したり、質問について考えたり答えたりしながら聞く。 	<ul style="list-style-type: none"> 全体に挨拶し、個別に数名の児童に挨拶する。 いつもすること、しないことについて話す。 一方的に話すのではなく、児童を会話に巻き込みながら話すようにする。 	
	<p>Small Talk の例</p> <p>I like soccer. I like (チーム名). So I always watch soccer games on TV. Who likes soccer? (児童に挙手を促しながら聞く) Do you watch soccer games on TV? My mother and father like <i>sumo</i>. They always watch <i>sumo</i> on TV. Do you watch <i>sumo</i>? Sometimes? I never watch <i>sumo</i> games on TV.</p>		
3分	<p>【Let's Chant】 What time do you get up? (オプション) p.27</p>	<ul style="list-style-type: none"> 最初はゆっくりバージョンで聞き、always / usually / sometimes / never の部分だけ言うようにする。 	教師用カード (頻度)
	<p>I always wash the dishes. I always wash the dishes. On Sunday, Monday, Tuesday, Wednesday, Thursday, Friday and Saturday. I always wash the dishes. (clap)</p> <p>I usually get the newspaper. I usually get the newspaper. On Monday, Tuesday, Wednesday, Thursday and Friday. I usually get the newspaper. (clap)</p> <p>I sometimes clean my room. I sometimes clean my room. On Sunday and Wednesday. I sometimes clean my room. (clap)</p> <p>I never comb my hair. I never comb my hair. Not on Sunday. Not on other days. Not at all! I never comb my hair. (Oh, no!)</p>		
10分	<p>【Let's Listen 2】 p.31</p> <ul style="list-style-type: none"> 音声聞いて、だれがどんな頻度で行う日課なのかを考えて、線で結ぶ。 	<ul style="list-style-type: none"> あらかじめ選択肢の絵をみながら、児童と「家での役割」の表現を確認する。 児童の実態に合わせて、数回聞かせる、あるいは途中で止めるなどみんなが自信をもって聞き取れる状態にして活動をする。 	児童用テキスト デジタル教材 教師用カード (頻度、日課)
	<p>1. I usually wash the dishes and clean my room. I never take out the garbage. 2. I sometimes clean my room. I always get the newspaper in the morning. 3. I usually take out the garbage and get the newspaper. I never wash the dishes.</p>		
8分	<p>【Let's Watch and Think 2】 p. 31</p> <ul style="list-style-type: none"> Mark が話す「家での役割」について何をどんな頻度で行っているか等について聞き取り記入する。 	<ul style="list-style-type: none"> 世界の子供たちの「家での役割」について視聴する。 学校にスクールバスで行く、といった日本と異なる情報にも触れる。 	児童用テキスト デジタル教材
	<p>1. Hello! I'm Mark. I live in America. I always water the grass at home. I usually go to school by school bus. I sometimes get the newspaper.</p>		

		◎1日の生活についてまとまりのある話を聞いておおよその内容を捉え、表に記入している。〈行動観察・記述分析・振り返りカード点検〉	
8分	○Let's Read and Write ③ ・自分の日課について、カードから選んで貼る。 ・相手に伝える目的をもって、声に出して読んでみる。	・音声で慣れ親しんだ簡単な語句や表現を推測しながら読み、シートの下からカードを選び、語順に気を付けながら貼るよう告げる。 ・ワークシートのリード文は、「例にならって書いてみよう。」となっているが、ここでは、カードを切り取って貼らせるだけにとどめる。児童の実態に応じて、書かせることも考えられる。また、個別指導をする。 ・文字を音声化することが大切である。貼ったものを相手に伝える目的をもってイラストをヒントに文を言う（読む）よう指示する。 ◎音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現で書かれたものの意味が分かり、カードを貼り付けている。〈行動観察・誌面分析・振り返りカード点検〉	ワークシート (Unit 4-4)
6分	○Sounds and Letters ⑤ (f, h, k, l) ・大文字と比較しながら、f, h, k, lの書き方を知り、形や4線上の書く位置に注意を払いながら、ワークシートの4線上に文字を書く。 ・アルファベットの文字の名称を聞いてその文字を書く。	・聞こえた小文字をワークシートに書くように指示する。 ① h ② l ③ k ④ f ⑤ h, f <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> デジタル教材：「教材どうぐばこ」→「素材種類別」→「アルファベットの名前・音」・「アルファベットの書き順」 </div> ◎小文字の書き方が分かり、小文字を書いている。〈行動観察・記述分析・振り返りカード点検〉	ワークシート (Unit 4-11) デジタル教材
5分	・本時の活動を振り返る。振り返りカードに記入する。 ・挨拶をする。	・本時のねらいに照らして児童を称賛する。 ・挨拶をする。	振り返りカード

5年 Unit 4—Lesson 6 単元名	What time do you get up?	一日の生活	6/8 時間
目 標	音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句で書かれたものの意味が分かるとともに、小文字の書き方が分かり、小文字を書くことができる。		
準 備	教師用カード (頻度), ワークシート (Unit 4-5, 4-6, 4-12), デジタル教材, 児童用テキスト, 振り返りカード		

※デジタル教材で特に表記のないものに関しては該当学年のものを使用する。

時間	児童の活動	指導者の活動 ◎評価<方法>	準備物
3分	・挨拶をする。	・全体に挨拶し、個別に数名の児童に挨拶する。	
3分	【Let's Chant】 What time do you get up? (オプション) p.27	・児童の実態により、スピードを選んで言わせるようにする。班または列ごとに言わせてもよい。	デジタル教材
	<p>I always wash the dishes. I always wash the dishes. On Sunday, Monday, Tuesday, Wednesday, Thursday, Friday and Saturday. I always wash the dishes. (clap)</p> <p>I usually get the newspaper. I usually get the newspaper. On Monday, Tuesday, Wednesday, Thursday and Friday. I usually get the newspaper. (clap)</p> <p>I sometimes clean my room. I sometimes clean my room. On Sunday and Wednesday. I sometimes clean my room. (clap)</p> <p>I never comb my hair. I never comb my hair. Not on Sunday. Not on other days. Not at all! I never comb my hair. (Oh, no!)</p>		
8分	【Let's Watch and Think 2】 p.31 ・Francis がどんな頻度でどんな行動をしているのか等について聞き取って記入する。	・世界の子供たちの「家での役割」について視聴する。ベッドメイキングをする、といった日本と異なる日課に触れ、いろいろな生活があることに気付かせるようにする。	デジタル教材 児童用テキスト 教師用カード (頻度)
	<p>2. Bonjour! I'm Francis. I live in Paris in France. I never water the plants or the grass. We live in an apartment. I always make my bed. I usually wash the dishes. I help my mother and father.</p>		
8分	○Let's Read and Write ④ ・自分の日課について、カードから選んで貼る。 ・相手に伝える目的をもって、声に出して読んでみる。	・音声で慣れ親しんだ簡単な語句や表現を推測しながら読み、ワークシート (Unit 4-6) の絵カードから語句を選び、そのカードを切り取って、ワークシート (Unit 4-5) の□に貼るよう告げる。個別指導をする。 ・文字を音声化することが大切である。相手に伝える目的をもってイラストをヒントに文を言う (読む) よう指示する。 ◎音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現で書かれたものの意味が分かり、貼り付けている。 <行動観察・記述分析・振り返りカード点検>	ワークシート (Unit 4-5, 4-6)
3分	○自分の日常生活について紹介する準備をする。 ・追加で話すことの整理をする。 ・完成したら、ワークシートを参考にしながら話す練習をする。	・スピーチの準備をさせる。スピーチでは自分の日常生活やその頻度の情報も含めて伝えられるようにする。	ワークシート (Unit 4-5)

6分	<p>○Sounds and Letters ⑥ (g, y, j)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大文字と比較しながら, g, y, j の書き方を知り, 形や4線上の書く位置に注意を払いながら, ワークシートの4線上に文字を書く。 ・アルファベットの文字の名称を聞いてその文字を書く。 	<ul style="list-style-type: none"> ・聞こえた小文字をワークシートに書くように指示する。 <p>① y ② g ③ j ④ g, t ⑤ y, m</p> <p>デジタル教材:「教材どうぐばこ」→「素材種類別」→「アルファベットの名前・音」・「アルファベットの書き順」</p>	<p>ワークシート (Unit 4-12) デジタル教材</p>
10分	<p>○Sounds and Letters ⑦</p> <ul style="list-style-type: none"> ・同じ音で始まる語を考えて発表する。 <p>デジタル教材:「教材どうぐばこ」→「ツール」→「Hi, friends! Plus」→「クイズ6 仲間の言葉を集めよう」</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・デジタル教材を活用して, 仲間の言葉集めをすることを告げる。デジタルで示されるアルファベットの文字をクリックしその名称と音の読み方を聞かせ, その音で始まる言葉を児童に問う。 ・同じ音で始まる語を確認しながら, 児童の音への気付きを促すようにする。(a~m) デジタル教材でどのような語があるかを確認する。 <p>◎小文字の書き方が分かり, 小文字を書いている。〈行動観察・記述分析・振り返りカード点検〉</p>	<p>デジタル教材</p>
4分	<ul style="list-style-type: none"> ・本時の活動を振り返る。振り返りカードに記入する。 ・挨拶をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・本時のねらいに照らして児童を称賛する。 ・挨拶をする。 	<p>振り返りカード</p>

5年 Unit 4—Lesson 7 単元名	What time do you get up?	一日の生活	7/8時間
目 標	他者に配慮しながら、自分の1日の生活について伝えようとするとともに、小文字の書き方が分かり、小文字を書くことができる。		
準 備	教師用カード (頻度, 日課), 児童用テキスト, ワークシート (Unit 4-5: 前時に作成したもの, 4-13), デジタル教材, 振り返りカード		

※デジタル教材で特に表記のないものに関しては該当学年のものを使用する。

時間	児童の活動	指導者の活動 ②評価<方法>	準備物
5分	<ul style="list-style-type: none"> 挨拶をする。 OSmall Talk : 1日の生活 <ul style="list-style-type: none"> 指導者の話を、反応を示したり、質問について考えたり答えたりしながら聞く。 	<ul style="list-style-type: none"> 全体に挨拶し、個別に数名の児童に挨拶する。 指導者の1日の生活を一方的に話すのではなく、児童を会話に巻き込みながら話すようにする。 数枚の絵カードを黒板に貼りながら時間の情報を交えながら伝える。 	教師用カード (頻度, 日課)
<p>Small Talk の例 (教師用カードを黒板に掲示しながら、時系列で指導者自身の1日の生活を紹介)</p> <p>Let's play (p.32)で紹介したものを、教師用カードを使い児童の記憶を確認しながら話しかける。</p> <p>This is my day. Do you remember? I always get up at (What time? と問いかけ、児童の答えを待つ) That's right. I always get up at 6. Then, I usually eat breakfast at... What time? Yes, good memory! Do I eat Japanese breakfast? Yes. I like Japanese breakfast. Then, I change my clothes to come to school. I work all day at school and go home at 7. I eat dinner at 8. I sometimes watch TV after dinner and I go to bed at 11.</p>			
5分	【Let's Chant】 What time do you get up? p.27 <ul style="list-style-type: none"> ①か②のどちらかを選んでチャンツを言う。 	<ul style="list-style-type: none"> 児童とスピードやオプションを選んで言う。 	デジタル教材
<p>①</p> <p>What time do you get up? What time do you get up? I get up at six. (Oh, I see.) I get up at seven. (Oh, me, too.)</p> <p>What time do you do your homework? What time do you do your homework? I do my homework at eight. (Oh, really?) I do my homework at nine. (So do I.)</p> <p>What time do you brush your teeth? What time do you brush your teeth? I brush my teeth at nine thirty. (Really?) I don't brush my teeth at night. (Oh, no! That's bad.)</p>		<p>②</p> <p>I always wash the dishes. I always wash the dishes. On Sunday, Monday, Tuesday, Wednesday, Thursday, Friday and Saturday. I always wash the dishes. (clap)</p> <p>I usually get the newspaper. I usually get the newspaper. On Monday, Tuesday, Wednesday, Thursday and Friday. I usually get the newspaper. (clap)</p> <p>I sometimes clean my room. I sometimes clean my room. On Sunday and Wednesday. I sometimes clean my room. (clap)</p> <p>I never comb my hair. I never comb my hair. Not on Sunday. Not on other days. Not at all! I never comb my hair. (Oh, no!)</p>	
10分	【Let's Listen 3】 p.32 <ul style="list-style-type: none"> 登場人物が会話形式で日常生活について伝えたり質問したり答えたりしている音声を聞いて、イラストを線で結ぶ。 	<ul style="list-style-type: none"> 最初は通しで聞かせ、どんな単語や表現が聞き取れたかを問いかける。 次に、登場人物の1人だけの情報に集中して聞くようにし、聞き取れた表現のイラストに印を付けるように指示する。 児童の実態に合わせて、何度か聞かせる。また途中で止めてもよい。 答えの確認では、全員でその表現を、イラストを見ながら言うようにする。 	児童用テキスト デジタル教材 教師用カード (頻度, 日課)

		<p>ラクシュ : Hi, Kosei. 犬 : Woof, woof. こうせい : Hi, Laksh. ラクシュ : Your dog is very cute. Do you usually walk your dog? こうせい : Yes, I sometimes walk my dog at seven thirty. ラクシュ : That's good. What time do you get up? こうせい : Umm, I always get up at six fifteen. How about you? ラクシュ : Me? I usually get up at six fifteen. I sometimes go to school at seven thirty. こうせい : Wow, that's early. What time do you usually go to bed? ラクシュ : Umm, I always go to bed at nine. How about you? こうせい : I never go to bed at nine. ラクシュ : Oh, really? What time do you go to bed? こうせい : I usually go to bed at ten. ラクシュ : Wow, that's very late. 犬 : Woof, woof. こうせい : OK, see you tomorrow. ラクシュ : See you at school.</p>	
14分	<p>○ペアで伝え合おう。</p> <p>・班の中でペアになり、自分の日常生活を頻度も含めて紹介する。次時の練習を兼ねて、班の中でペアを替えながら何度か行う。互いにアドバイスをし合い、次時により紹介ができるようにする。</p>	<p>・前時に作成したワークシートをもとにペアで1日の生活を紹介するよう告げる。</p> <p>・紹介後は、どのような工夫をすれば、相手にしっかりと伝えられるかを考え、互いにアドバイスをさせる。</p> <p>S1: I always get up at 7. I sometimes take out the garbage. (朝) S2: I go home at 5 and I always do my homework. I sometimes wash the dishes. (放課後) S3: I usually get up at 8:00 on Sunday. I sometimes clean my room. (休日)</p> <p>◎他者に配慮しながら、自分の1日の生活について伝え合っている。〈行動観察・振り返りカード点検〉</p>	<p>ワークシート (Unit 4-5:前時に作成したもの)</p>
6分	<p>○Sounds and Letters ⑧ (b, d, p, q)</p> <p>・大文字と比較しながら、b, d, p, qの書き方を知り、形や4線上の書く位置に注意を払いながら、ワークシートの4線上に文字を書く。</p> <p>・アルファベットの文字の名称を聞いてその文字を書く。</p>	<p>・聞こえた小文字をワークシートに書くように指示する。</p> <p>① b ② d ③ p ④ q ⑤ d, p</p> <p>デジタル教材:「教材どうぐばこ」→「素材種類別」→「アルファベットの名前・音」・「アルファベットの書き順」</p> <p>◎小文字の書き方が分かり、小文字を書いている。〈行動観察・記述分析・振り返りカード点検〉</p>	<p>ワークシート (Unit 4-13) デジタル教材</p>
5分	<p>・本時の活動を振り返る。振り返りカードに記入する。</p> <p>・挨拶をする。</p>	<p>・本時のねらいに照らして児童を称賛する。</p> <p>・挨拶をする。</p>	<p>振り返りカード</p>

5年 Unit 4—Lesson 8 単元名	What time do you get up?	一日の生活	8/8時間
目 標	他者に配慮しながら、自分の1日の生活について伝えようとするとともに、小文字の書き方が分かり、小文字を書くことができる。		
準 備	ワークシート (Unit 4-1, 4-14) , デジタル教材, 児童用テキスト, 振り返りカード		

※デジタル教材で特に表記のないものに関しては該当学年のものを使用する。

時間	児童の活動	指導者の活動 ◎評価<方法>	準備物
3分	・挨拶をする。	・全体に挨拶し、個別に数名の児童に挨拶する。	
3分	【Let's Chant】 What time do you get up? p.27 ・①か②のどちらかを選んでチャンツを言う。	・児童の実態により、スピードやオプションを選ぶ。	デジタル教材
	<p>①</p> <p>What time do you get up? What time do you get up? I get up at six. (Oh, I see.) I get up at seven. (Oh, me, too.)</p> <p>What time do you do your homework? What time do you do your homework? I do my homework at eight. (Oh, really?) I do my homework at nine. (So do I.)</p> <p>What time do you brush your teeth? What time do you brush your teeth? I brush my teeth at nine thirty. (Really?) I don't brush my teeth at night. (Oh, no! That's bad.)</p>	<p>②</p> <p>I always wash the dishes. I always wash the dishes. On Sunday, Monday, Tuesday, Wednesday, Thursday, Friday and Saturday. I always wash the dishes. (clap)</p> <p>I usually get the newspaper. I usually get the newspaper. On Monday, Tuesday, Wednesday, Thursday and Friday. I usually get the newspaper. (clap)</p> <p>I sometimes clean my room. I sometimes clean my room. On Sunday and Wednesday. I sometimes clean my room. (clap)</p> <p>I never comb my hair. I never comb my hair. Not on Sunday. Not on other days. Not at all! I never comb my hair. (Oh, no!)</p>	
20分	○自分の日常生活を頻度も含めて紹介する。 ・ Hello, my name is ~. とスピーチを始め、最後は Thank you. と言う。 ・ 聞き取れた内容を分かる範囲でよいのでワークシートに記入する。	・発表前に各自練習の時間を与える。児童の実態に応じて、グループ内や学級全体での発表とする。 ・聞き手に、分かったことを聞き取れた部分だけでもよいので、ワークシートに記入するよう促す。 ・中間評価をし、よいスピーチについて、具体的に児童と共通理解し、後半のスピーチを行う。 ◎他者に配慮しながら、自分の日常生活を頻度も含めて紹介している。〈行動観察・振り返りカード点検〉	児童用テキスト ワークシート (Unit 4-1)
6分	○Sounds and Letters ⑨ (a~z) ・ a から z までの小文字を書く。	・ワークシートの指示に従い小文字を書くよう指示する。 1. 空いているところに小文字を書く。 2. 大文字の隣に小文字を書く。 3. アルファベット順に小文字を書く。 4. 友だちの言うアルファベットの小文字を書く。 ◎小文字の書き方が分かり、小文字を書いている。 〈行動観察・記述分析・振り返りカード点検〉	ワークシート (Unit 4-14)
5分	○Sounds and Letters ⑩ ・ 同じ音で始まる語を考えて発表する。	・デジタル教材を活用して、仲間の言葉集めをすることを告げる。デジタルで示されるアルファベットの文字をクリックしその名称と音の読み方を聞かせ、その音で始まる言葉を児童に問う。	デジタル教材

		<ul style="list-style-type: none"> ・同じ音で始まる語を確認しながら，児童の音への気付きを促すようにする。(n～z) デジタル教材でどのような語があるかを，確認する。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> デジタル教材：「教材どうぐばこ」→「ツール」→「Hi, friends! Plus」→「クイズ6 仲間の言葉を集めよう」 </div>	
5分	【STORY TIME】 p.33 ・絵本の読み聞かせを聞く。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> マリア：Do you have your math textbook? かず：Yes, I do. かず：Here you are. マリア：Thank you, Kazu. </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・絵本を読み聞かせる際には，一方的に絵本の台詞を読むのではなく，児童と各ページにあるさまざまなイラストやストーリーの展開についてやり取りしながら読むようにする。そうすることで，話の筋についての理解を助けるとともに，児童を絵本の世界に引き込むことができる。 ・高学年で扱っている絵本のページに記されている台詞は，やがて児童が読み聞かせを聞きながら絵本の台詞を指で追って聞いたり，自分で読むことに挑戦したりすることを想定し，短く単純なものにしている。よって，指導者が台詞以外の言葉を加えながらやり取りを行い，児童の想像を膨らませるようにすることが大切である。 ・指導者は，ジェスチャーを付け，表情豊かに読む。これらも児童にとっては，話の筋を理解するうえで大切な情報源となる。デジタル教材を活用して読み聞かせをしてもよい。 	児童用テキスト デジタル教材
3分	<ul style="list-style-type: none"> ・本時の活動及び本単元を振り返る。振り返りカードに記入する。 ・挨拶をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・本時のねらいに照らして児童を称賛する。 ・挨拶をする。 	振り返りカード